

与那原町保幼こ小連携授業研 1年3組



東っ子

（教育目標）

進んで学びよく考える子
ゆたかな心の子
進んで実行する子
たくましい体の子

令和5年6月27日

第3号

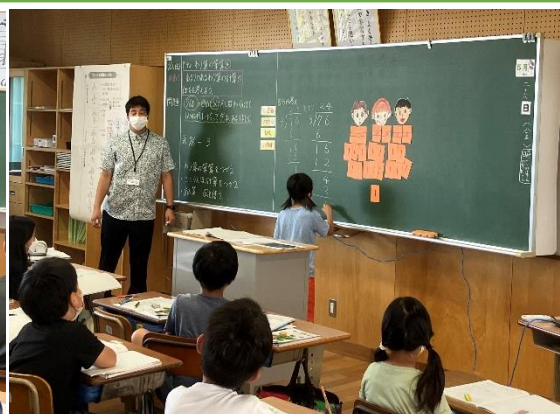
校長 仲村 保

5月16日（火）保幼こ小連携の公開授業がありました。幼稚園、保育園年長さん入学した子どもたちの様子をお世話になった幼稚園・保育園の先生方に公開するのは。机の上の学習用具の置き方、音読の仕方等の学習規律がバッチリの授業でした。授業後はお世話になった先生方と交流をして久しぶりに再会を楽しんでいました。



初任者初の授業研究会 4年2組、6年2組

第1回
初任者授業研
4年2組
「わり算のひっ算」
6年2組
「分数のかけ算」



5月26日（金）の今年度、採用された2人の初任者の授業研究会がありました。授業はいずれも算数。二人とも緊張したと思いますが、45分の計画した指導案の通り授業を行うことができました。教具の準備や板書計画、授業の流れの構成にと考えた通りの授業でした。私自身のことを振り返ると、初任者の時はここまでできていなかったと思います。この1年。授業研究会を通して力量を高めていきます。

6月6日、今年度初の委員会の発表がありました。クイズを出してみんな大盛り上がるの朝会でした。学校がコロナ禍の前の日常に戻っています。



掲示委員会の発表の様子



給食委員会の発表の様子



「この世の中にだれかがやらなければならないことがある時、僕は、その誰かになりたい。」
中田厚仁さんの言葉



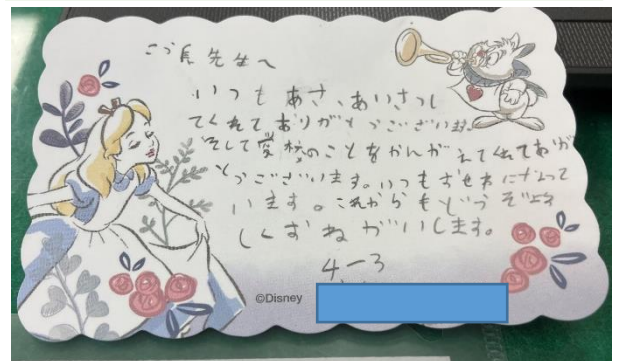
中田厚仁さんをご存じでしょうか？国連選挙監視ボランティアとしてカンボジアの総選挙の手伝いをしていた1993年に銃撃を受け命を落とした青年を。あのポルポト政権後も政情不安が続いていたカンボジアで総選挙が行われると聞き、自分にできる平和への貢献を夢見ていた中田さんが、カンボジアへ行くことに反対していた両親を説き伏せた言葉が上記の言葉です。与東つ子が中田さんのように国際貢献を行うことは今は無理でしょう。ですが、中田さんが語った言葉は、子どもたちの世界でも十分意味を持つ言葉です。例えば、学級で片付けられていない雑巾がある時、誰かが引き受けなければ先に進まない活動がある時など、中田さんの言葉は「よし、自分が・・・」と思わせる力を持った言葉です。13日（火）の朝会で、この中田さんの言葉を子どもたちに紹介しました。左、中央の写真は、中田さん功績を讃えたモニュメント。その下が、「ヒロ小学校・中学校」の正門です。厚仁（あつひと）の「アツ」を取った名前の学校もできました。享年25歳。子ども達に伝えたい言葉として、また、私自身も大切にしたい言葉として中田さんの言葉は私の中で生き続けています。

「鑑賞のすすめ」



校長室に、タイトルも作者名も記されていない絵があります。何艘かの帆船がオレンジ、紺、黄色、緑などの色を使って描かれています。たまたま、校長室を訪れた2年生の子と「対話による鑑賞」を行いました。対話による鑑賞とは、作者の意図とは関係なく、絵を見ての印象や感想、不思議に思ったことなどを話しながら絵を鑑賞するのです。子ども達の感性や言葉による表現力、他者とのコミュニケーション力を高めるにはもってこいの活動です。このような「鑑賞」の授業をこれからやっていきたいと考えています。

うれしいお手紙



6月5日（月）4年生の女に子からお手紙をもらいました。「いつもあいさつしてくれてありがとうございます。そして、学校のことをかんがえてくれてありがとうございます。」と書かれていました。めちゃくちゃ嬉しいです。私は、本気で「あいさつ日本一」を目指しています。そのことが与東つ子の誇りになればと思っていますので。ですから、毎朝、正門であいさつをしながら子供達の登校を見守っています。「あー、思いは伝わる」のだと実感しました。与東つ子はあいさつが上手になってきました。日本一までもうすぐです。

